

アイデア提案書

| | | | |
|---------|--|-------|------------|
| 提案番号 | No.22-1-5 | | |
| 提出年月日 | 令和4年11月18日 | 受付年月日 | 令和4年11月18日 |
| 所属 | | 職名・氏名 | |
| 提案件名 | 庁内パートタイムジョブ制度 | | |
| 提案の要件 | <input type="checkbox"/> 市民サービスの向上に役立つもの <input checked="" type="checkbox"/> 事務能率が向上するもの <input type="checkbox"/> 経費の節減・収入の増加に資するもの <input type="checkbox"/> 行政事務運営の革新となるもの <input type="checkbox"/> 本市のイメージアップに係るもの <input type="checkbox"/> その他公益上有効であるもの | | |
| 関係部署 | 全庁 | | |
| 現状及び問題点 | <p>(実施の必要性について具体的に)</p> <p>現状でも、他部署を手伝う、部内横断の施策に課(部署)職員を出す、といったことは運用で行われています。これを、協力しやすく他部署との連携も取りやすくできないかと考えたのが、この庁内パートタイムジョブ制度です。</p> <p>【現状と課題】</p> <p>他部署を手伝うということは、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 確定申告やイベント準備等の半日程度を拘束する業務 ② 異動前の前任業務の手伝い ③ 部内横断などの、いわゆるワーキンググループへの参画などが考えられます。 <p>①の業務については、規模が大きなものになり、従来通り広く職員を集めて進めることが必要で、従来の方法で進めることが良いと考えますが、②や③については明確なルールがなく、手伝いなどで長い時間を取られて本務を行うのに残業をしてしまう、本務での時間が空いているので少しの時間だけ忙しい部署を手伝いたいけど気兼ねする、といったことが考えられます。</p> <p>そこで、</p> | | |
| 提案の内容 | <p>(実施の方法について具体的に)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週1時間程度(基本1時間、最大1時間半)で、自部署以外の市の業務を行うことができる制度とします。 ・方法として、①手伝い等を希望する部署が、ファイルサーバーのヘルプリストに、1時間程度で終了できるヘルプ内容を入力する。②個々の職員が本務の業務の余裕をみて管理職に報告しヘルプ可能の入力をする。③マッチングできたら実行する。となります。 | | |

| | |
|----------------|---|
| | <p>【ヘルプ依頼例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇業務のシステム入力のヘルプをお願いします。経験者歓迎。 ・△△の発送作業の手伝い求む。1時間程度で。 ・吉永地区市道の草刈りを◇月◇日8時半から行います。吉永地区の職員の人、手伝ってください。(実質1時間をお願いします。) ・□□業務をDX化するのに業務経験者の意見を伺いたいです。日時は…。 |
| <p>期待される効果</p> | <p>(効果について数量等を具体的に)</p> <p>忙しい部署にとっては、短時間でもヘルプが入ることで助かることとなります。</p> <p>また職員は他部署を手伝うことで、</p> <p>【本人】・他部署の業務、考え方などを知ることができる。</p> <p>・引継ぎ期間以外の、前部署の手伝いを気兼ねなくできる。</p> <p>【管理職】・引継ぎ期間以外で前部署の手伝いに行った職員がいつまでたっても帰ってこない、という心配がなくなる。</p> <p>という効果は期待できます。</p> <p>そのほかに、ヘルプに入る、受けることで人の移動が生まれ、フリーアドレスの意識が高まると考えられます。</p> <p>※当然ですが、自部署が忙しいときは管理職が「受ける」「行かせる」とも判断をすることになります。</p> |

| | |
|-----------|--|
| 担当課 意見 | 【総務課】 |
| | 他部署の業務をもっとオープンに、もっと柔軟にお手伝いしようというご提案ですが、人的応援が必要な業務が発生した場合は、現状でも部署を横断した柔軟な応援をしているかと思います。こういったことから、総務課としては制度化することなく、現在の各部署の柔軟な対応を尊重していきたいと思います。 |

【職員提案審査委員会による審査結果】

| 項目 | 問題意識 | 創造性 | 有効性 | 効率性 | 費用対効果 | 具体性 | 実現性 | 合計(総合評定) (26点以上で優秀賞) |
|----|------|------|------|------|-------|------|------|-------------------------|
| 点数 | 3.2点 | 3.3点 | 3.0点 | 3.1点 | 3.3点 | 3.1点 | 4.0点 | 22.9点 |

| | |
|----|---|
| 意見 | 優秀賞に至らず |
| | <p>●担当部署からすると、ヘルプを頼みたくてもその段取りが出来ないというのが現実とは思いますが、常に業務を把握し、頼めるように仕事を進めるといのは必要ですが、かなり高レベルと思います。たしかに現状でも一部機能しているとは思いますが、ある程度制度化して職員の意識改革を進める必要はあると思います。しかし、1時間が妥当なのかは用検討な気がします。</p> <p>●柔軟なアイデアとは思いますが、制度化には危惧を覚えます。制度化すればするほど、それに縛られ、それに対応せざるを得なくなり、縦割り社会の度を強める可能性もあります。ここは地方の市役所。思いやりや組織としての責任感で市役所全体の底上げを図るような協力体制が良いような気がします。</p> <p>●週1時間程度(基本1時間、最大1時間半)だけでなく、1日、3日など中長期的にできる仕組みになればよいと思います。権限などのハードルもありますが、税務課の確定申告手伝いなどもこの制度で対応できればいいなと考えます。</p> <p>●現状の対応でも良いのではないかと思います。</p> <p>●確かに、実現すれば部署ごとの負担や引継ぎ時の精神的負担が軽減すると思うので、職員の精神面でのフォローにもなるかと思う。しかし、このように気軽に他部署の援助をできる程度の時間が存在する職員は存在するの。 (そもそも係内で業務負担が平等ではないともある・・・)</p> <p>●ユニークな発想ではあると思いますが、従来どおりの運用で問題ないと思います。</p> <p>●現在でも他部署と連携をとっています。上司の考え方しだいだと思います。</p> <p>●現運用の中でできているものを、よりやりやすくするために制度化することが本アイデアだが、担当課意見にあるとおり、制度化せずとも運用の中でそうしていくことは可能だと思う。とはいえ、特に決まりもなく漠然としている現運用がやりやすいかという点には疑問が残る。制度化まではならなくても、例えばヘルプが必要な際にどのように掲示板に載せるべきかの例示等があれば、ヘルプを必要とした部署が今よりも頼みやすくなるのではないかと。業務量が増える中、反対に職員は減少していることを踏まえ、縦割り行政の是正と職員の流動化による業務効率の平準化は今後考えていかなければならない課題だという点で、本アイデアの着想は良いと感じた。</p> <p>●担当課意見としては、現状でも柔軟な応援をしているとなっているが、提案者の意図としては、気兼ねなく応援できる体制を求めていると思われるので、制度化することに意味があるのだと思われる。</p> <p>●「現状でも部署を横断した柔軟な応援をしている」という総務課の認識が現場の感覚とはズレているのではないかと感じる。市長の2割は他部署の仕事というスローガンをある程度制度化する必要があると感じる。また、手伝った職員の労力の見える化も必要だと思う。</p> |